



## 『家庭学習調査 2021』を実施 家庭学習調査から見える、子どもの生活や学習、 保護者の子どもへの関わり方の変化は？

公文教育研究会（代表取締役社長 池上秀徳 [いけがみ ひでのり]）は、2021年11月、小学校1～3年生のお子さまがいる世帯の母親1,000人、父親800人を対象に、「家庭学習についての調査」を実施しました。この調査は、近年共働き世帯が増加する中、子どもの生活・家庭学習の状況や、保護者の意識・行動について、実態の把握を目的に、2015年から継続して行っています。

【調査概要】 調査方法：インターネット調査  
 調査対象：小1～小3の子がいる世帯の母親1,000人、父親800人  
 調査期間：2021年11月26日～11月30日

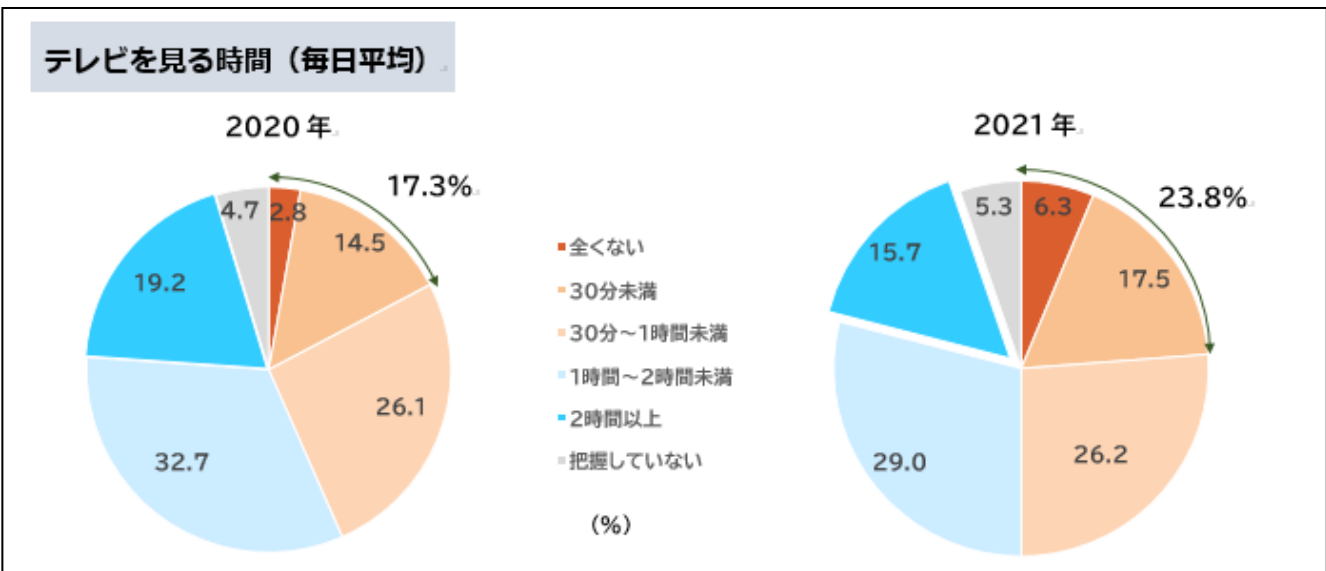
### 【データから見えた10のトピックス】

- ① テレビを見る時間は減少、ゲームをする時間は変化なし
- ② 子どもが家で学習するのは、週平均「5.7日」、1日の学習時間は「34.9分」
- ③ 子どもについて気にかかっていることは「子どもの学校での様子」と「子どもの友達関係」
- ④ 学校主導、自主実施の両方でオンライン学習をしている子どもが増加
- ⑤ 教育におけるICT拡大を評価
- ⑥ 子どもが使用しているのはゲーム機とタブレット
- ⑦ 家庭内学習の評価と悩みの程度に変化なし
- ⑧ 子どもの家庭内学習の熱心さも変化なし
- ⑨ 子どもの家庭内学習の熱心さのきっかけは、「自力で課題を解けるようになったから」
- ⑩ 保護者の家庭内学習関与が増えている傾向

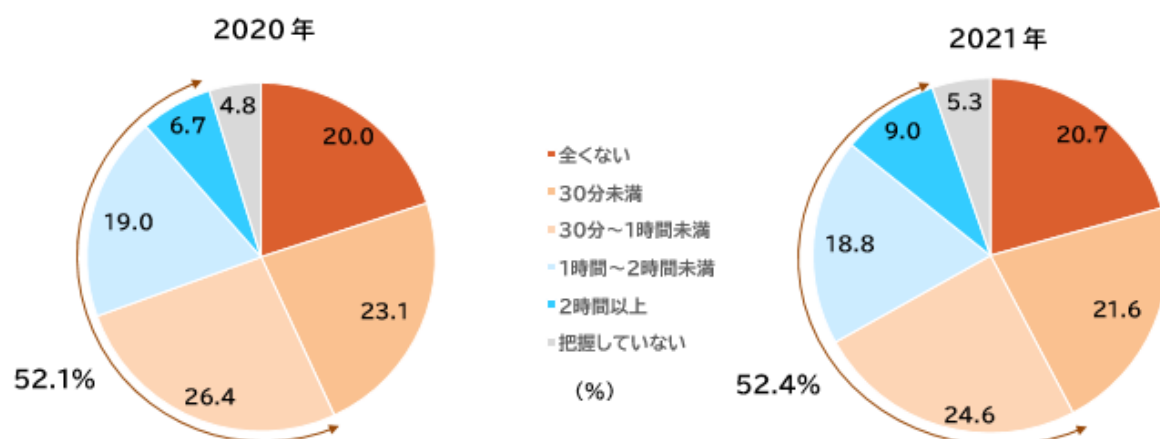
### 子どもの家庭で過ごす時間の変化

#### ① テレビを見る時間は減少、ゲームをする時間は変化なし

テレビを見る時間を聞いたところ、「全くない」と「30分未満」という回答が23.8%となり、「2時間以上」は15.7%でした。昨年度の調査結果と比べると、テレビを見る時間が減少しました。また、30分以上ゲームをするという回答の合計は52.4%となり、昨年度の調査結果(52.1%)から微増ながらも、ほとんど変化はみられませんでした。

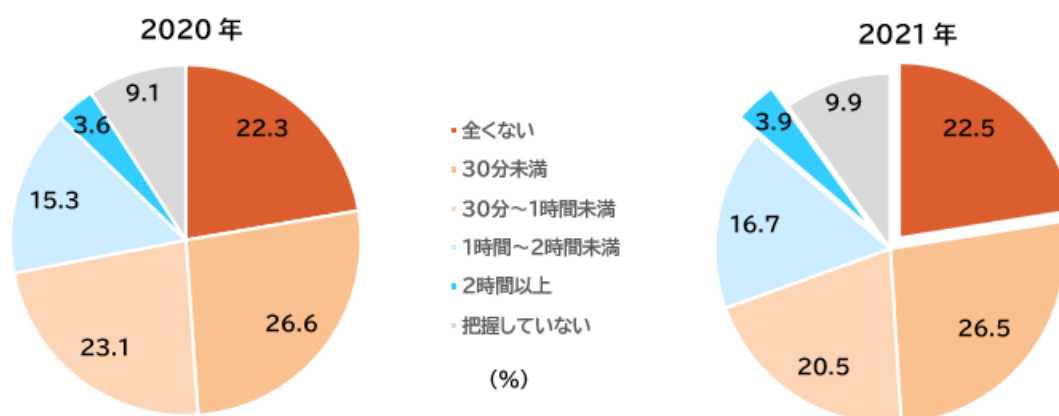


### ゲームをする時間（毎日平均）



外(公園や広場など)で遊ぶ時間を聞いたところ、「全くない」の回答が22.5%、「2時間以上」の回答が3.9%と、昨年度調査結果から、ほとんど変化はみられませんでした。

### 外(公園や広場など)で遊ぶ時間（毎日平均）



## ② 子どもが家で学習するのは、週平均「5.7日」、1日の学習時間は「34.9分」

今回の調査では、小1～小3の子どもの家庭学習の頻度は、週平均「5.7日」、1日の平均学習時間は「34.9分」という結果となりました。昨年度の調査結果（週平均「5.8日」、平均学習時間「36.3分」）より減少しています。

### 家庭学習の週平均学習日数(日)

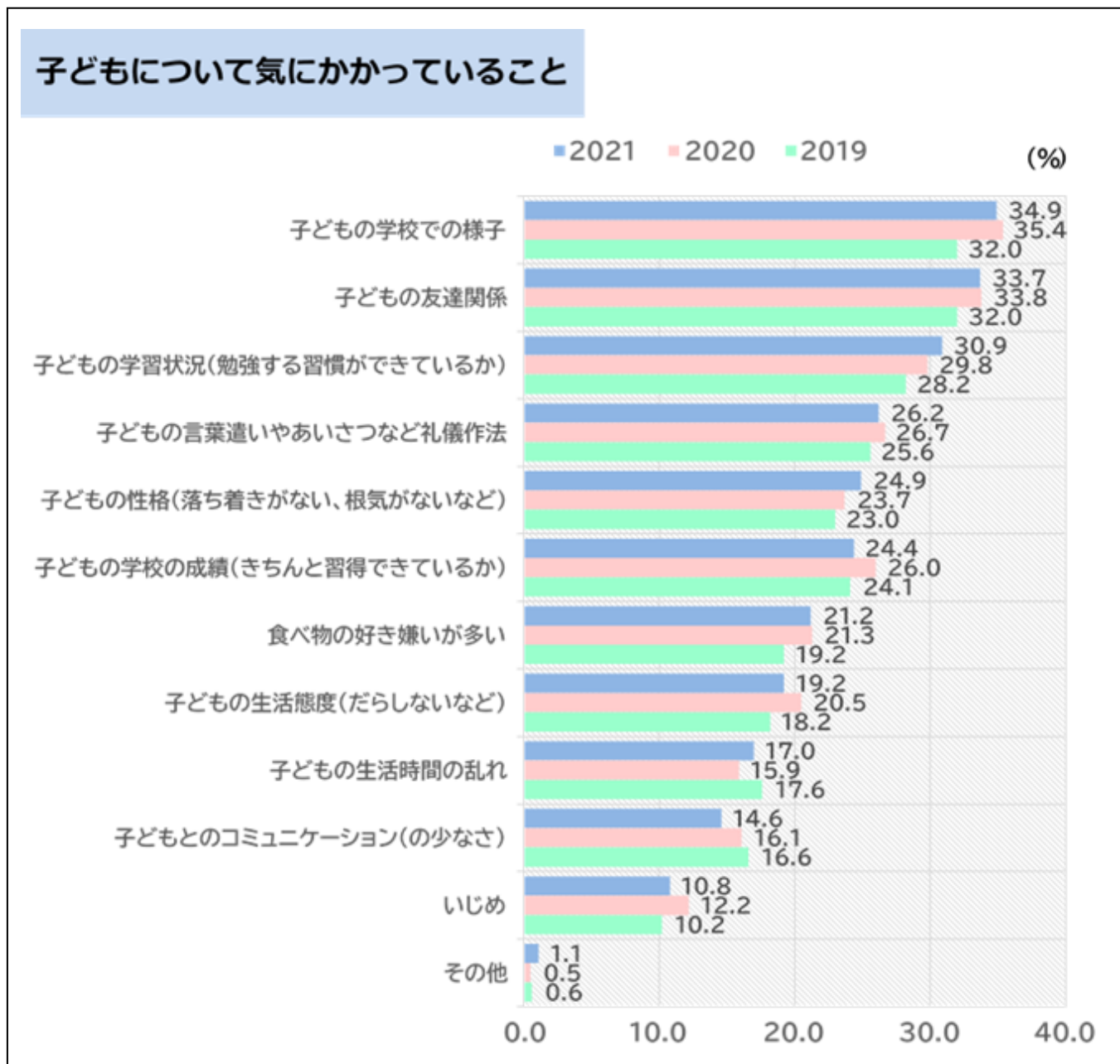
2017年	5.8
2018年	5.8
2019年	5.9
2020年	5.8
2021年	5.7

### 家庭学習の平均学習時間(分)

2017年	35.8
2018年	36.3
2019年	37.1
2020年	36.3
2021年	34.9

### ③ 子どもについて気にかかっていることは「子どもの学校での様子」と「子どもの友達関係」

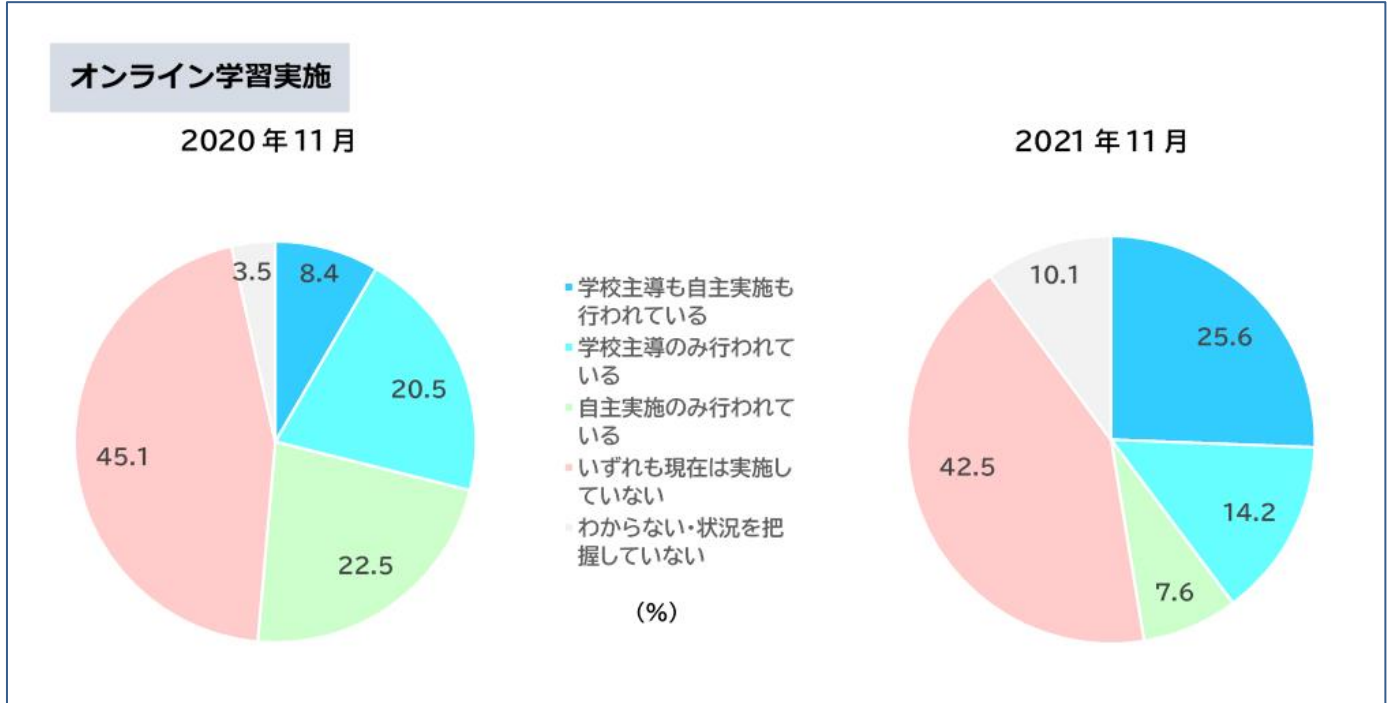
今回の調査でも、子どもについて気にかかっていることを聞きました。「子どもの学校での様子」が34.9%、「子どもの友達関係」は33.7%と、3割以上の保護者が気にかかっていると回答しています。



## オンライン学習の実態

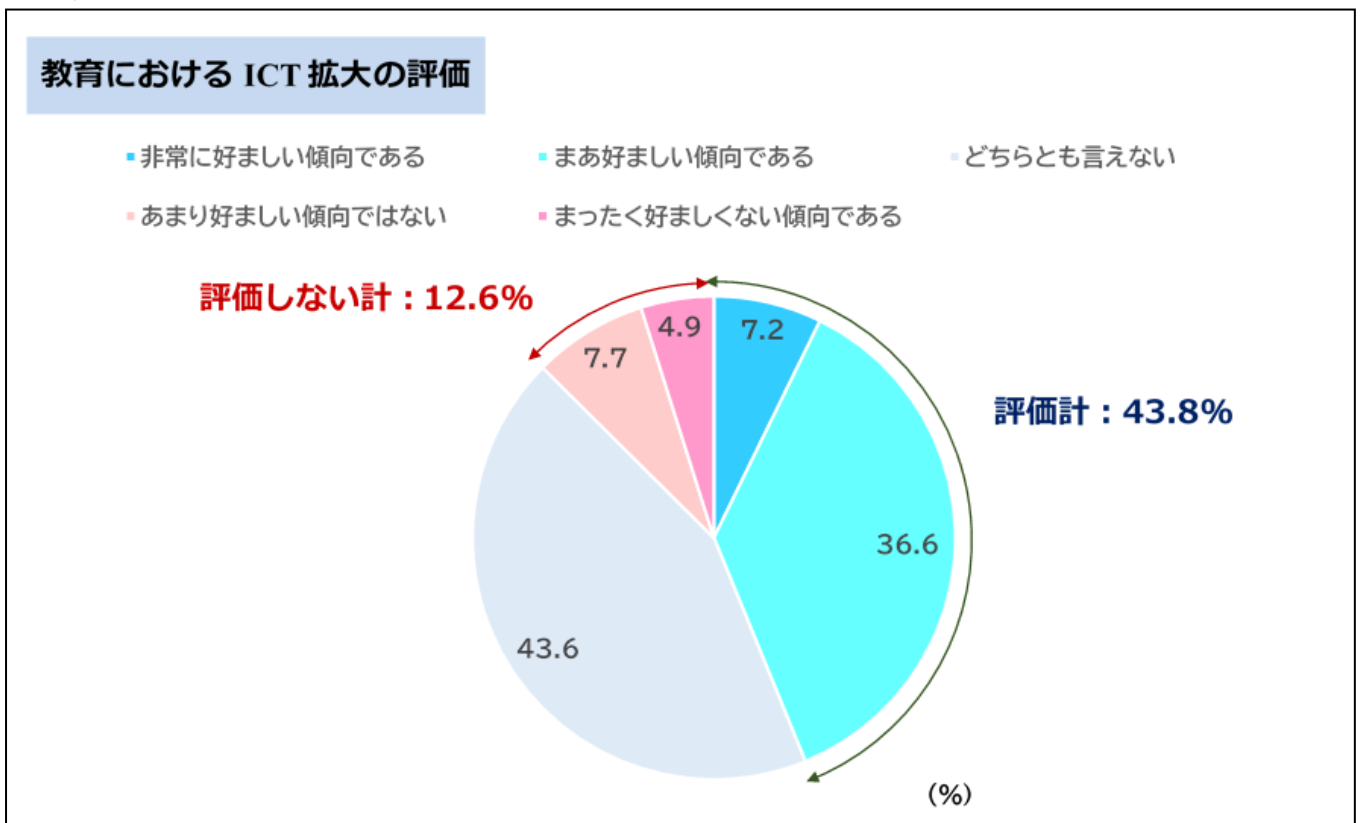
### ④ 学校主導、自主実施の両方でオンライン学習をしている子どもが増加

オンライン学習実施の状況を聞いたところ、「学校主導も自主実施も行われている」が25.6%となり、昨年度の調査結果（8.4%）から増加しています。「いずれも現在は実施していない」は42.5%となり、昨年度の調査結果（45.1%）から微減ながらも、ほとんど変化はみられませんでした。



### ⑤ 教育における ICT 拡大を評価

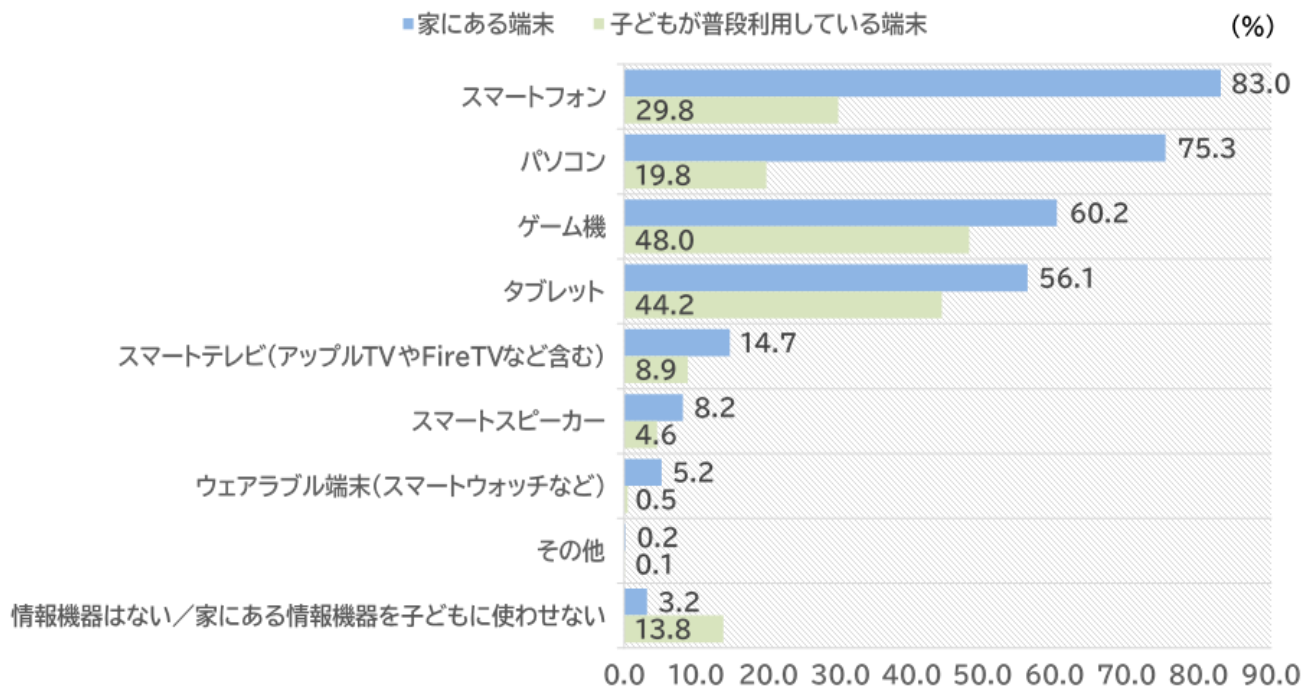
教育における ICT 拡大の評価を聞いたところ、「非常に好ましい傾向である」と「まあ好ましい傾向である」の回答が43.8%、「あまり好ましい傾向ではない」と「まったく好ましくない傾向である」の回答が12.6%でした。



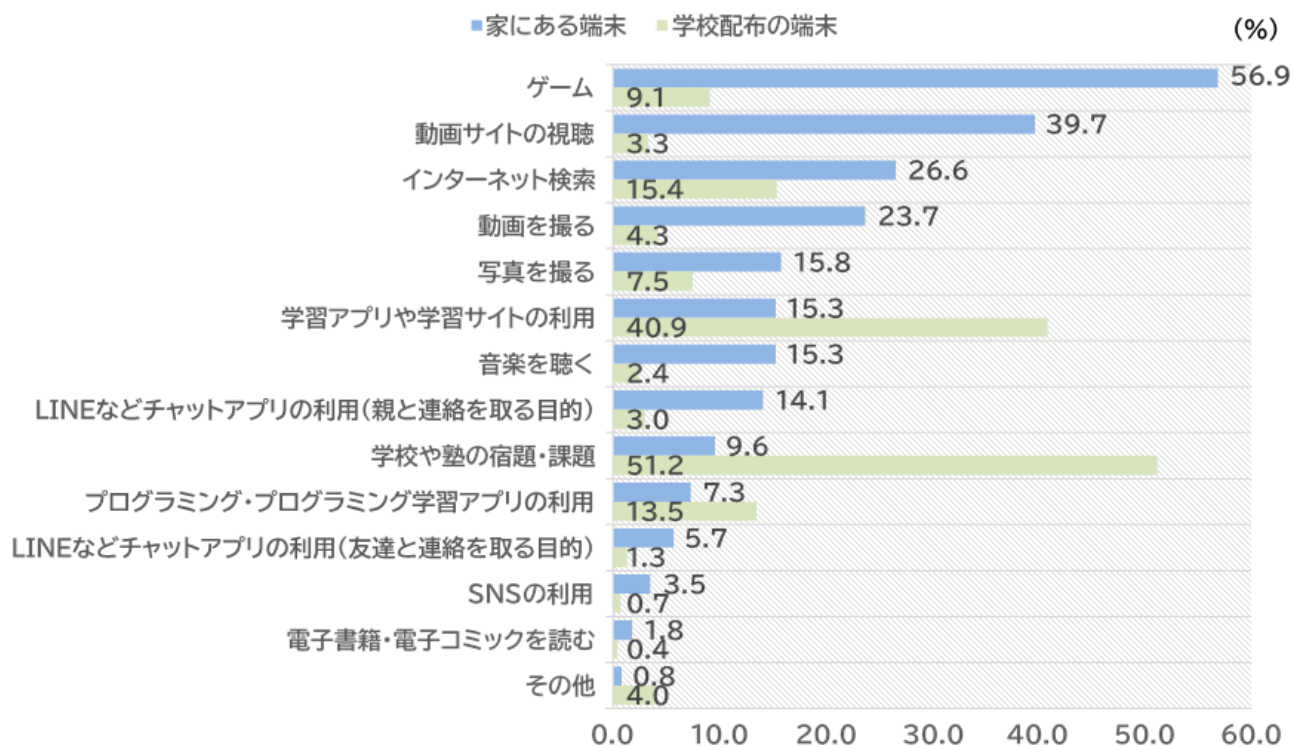
## ⑥ 子どもが使用しているのはゲーム機とタブレット

家庭におけるスマート端末の所有と子どもが普段利用している端末を聞きました。子どもが利用している端末としては、ゲーム機（48%）が最も多く、タブレット（44.2%）が続きました。家庭におけるスマート端末の利用実態では、家にある端末では、「ゲーム」（56.9%）と「動画サイトの視聴」（39.7%）の回答が多く、学校配布の端末では、「学校や塾の宿題・課題」（51.2%）と「学習アプリや学習サイトの視聴」（40.9%）の回答が多いという結果でした。

### 家庭におけるスマート端末の所有と子どもの利用端末



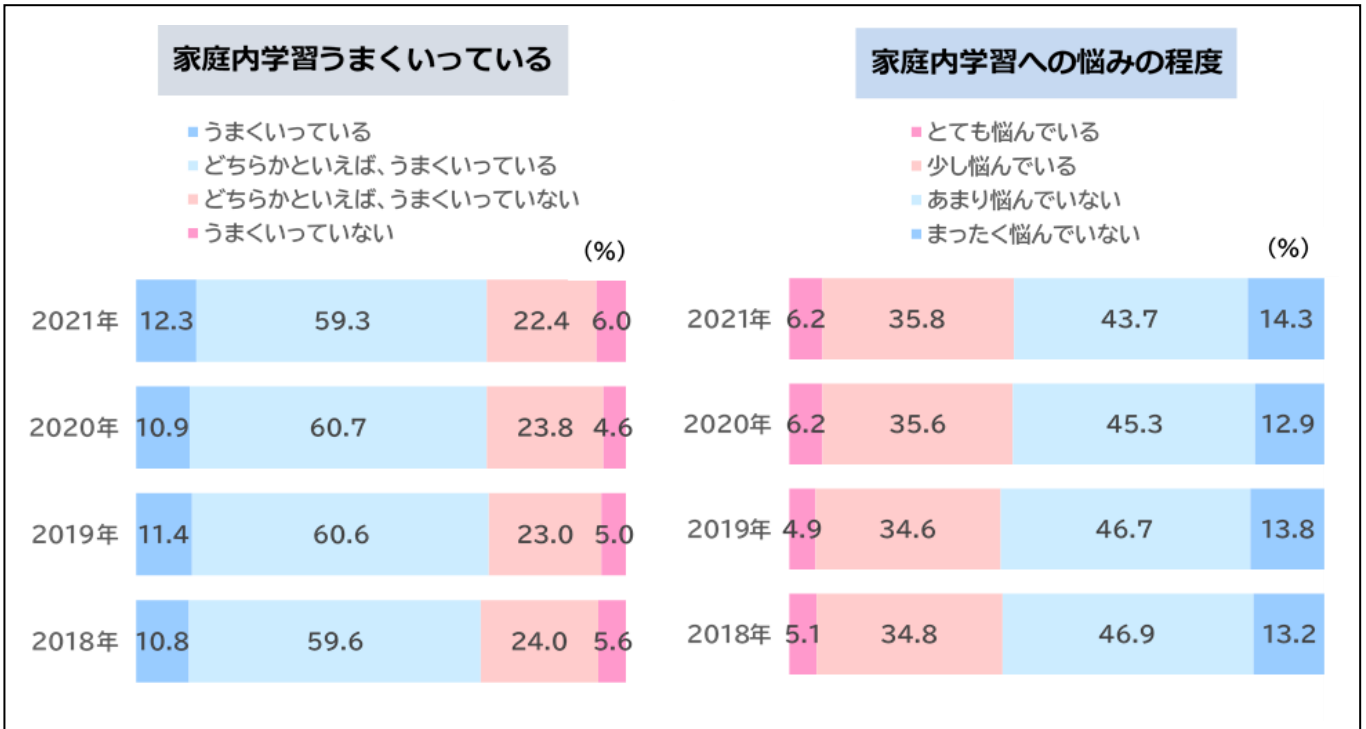
### 家庭におけるスマート端末の利用実態



## 家庭内学習の評価と状況

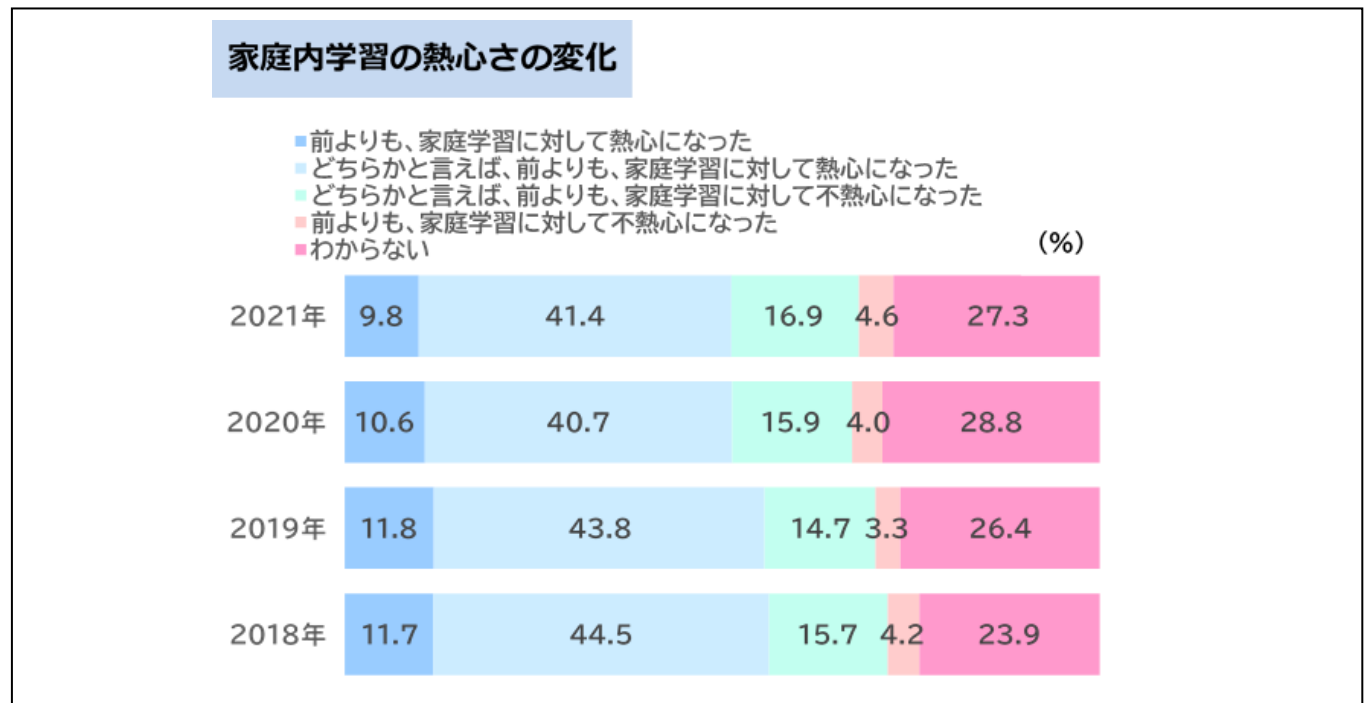
### ⑦ 家庭内学習の評価と悩みの程度に変化なし

家庭内学習の評価としては、「うまくいっている」と「どちらかといえば、うまくいっている」の回答が71.6%となり、昨年度の調査結果（71.6%）と同じ、全体的にもほとんど変化は見られませんでした。家庭内学習への悩みの程度も、「まったく悩んでいない」と「あまり悩んでいない」の回答が58.0%となり、昨年度の調査結果（58.2%）とほとんど変化はみられませんでした。



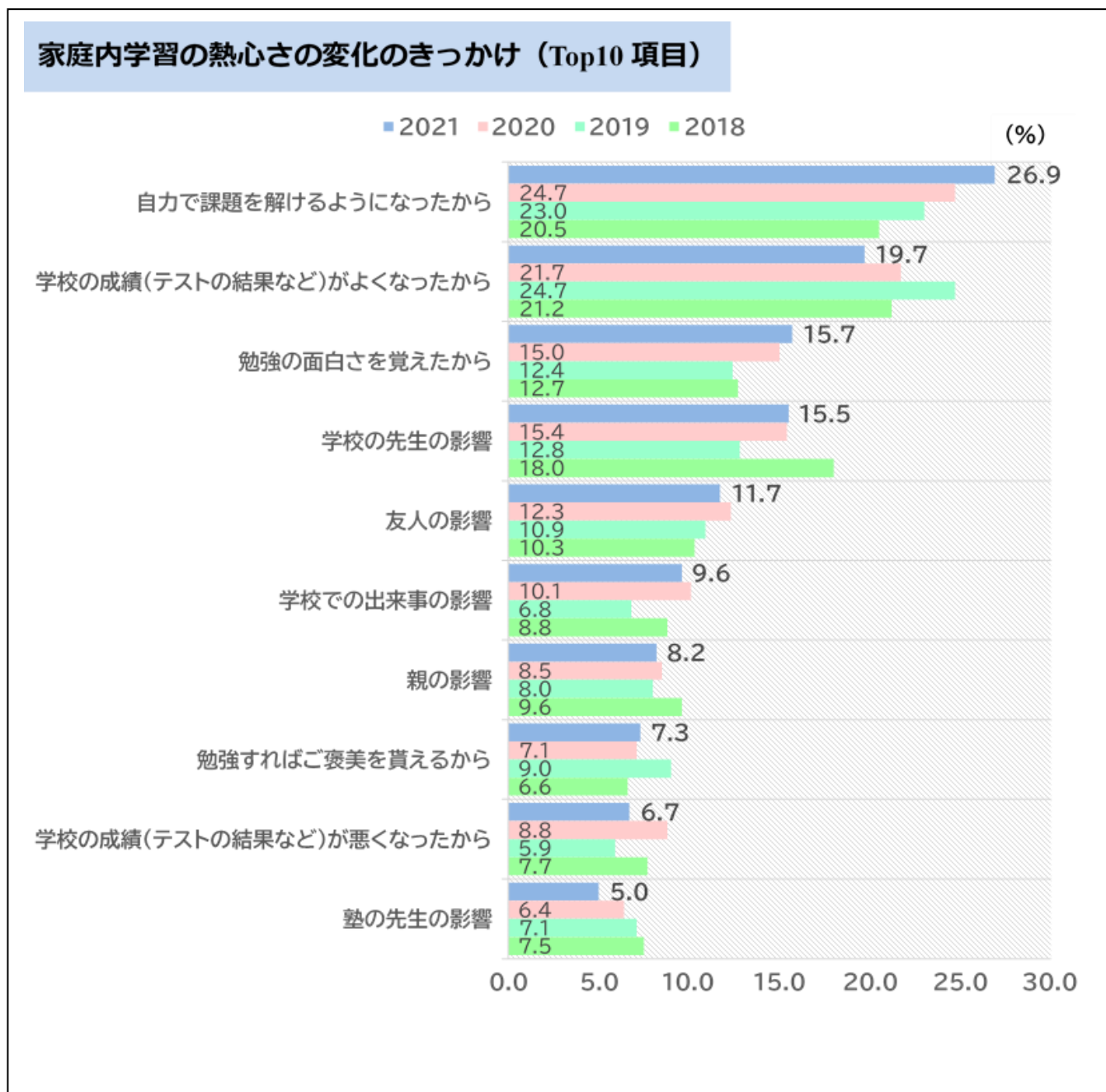
### ⑧ 子どもの家庭内学習の熱心さも変化なし

子どもの家庭内学習の熱心さの変化を聞きました。「前よりも、家庭学習に対して熱心になった」と「どちらかと言えば、前よりも、家庭学習に対して熱心になった」の回答が51.2%となり、昨年度の調査結果（51.3%）からほとんど変化は見られませんでした。



### ⑨ 子どもの家庭内学習の熱心さのきっかけは、「自力で課題を解けるようになったから」

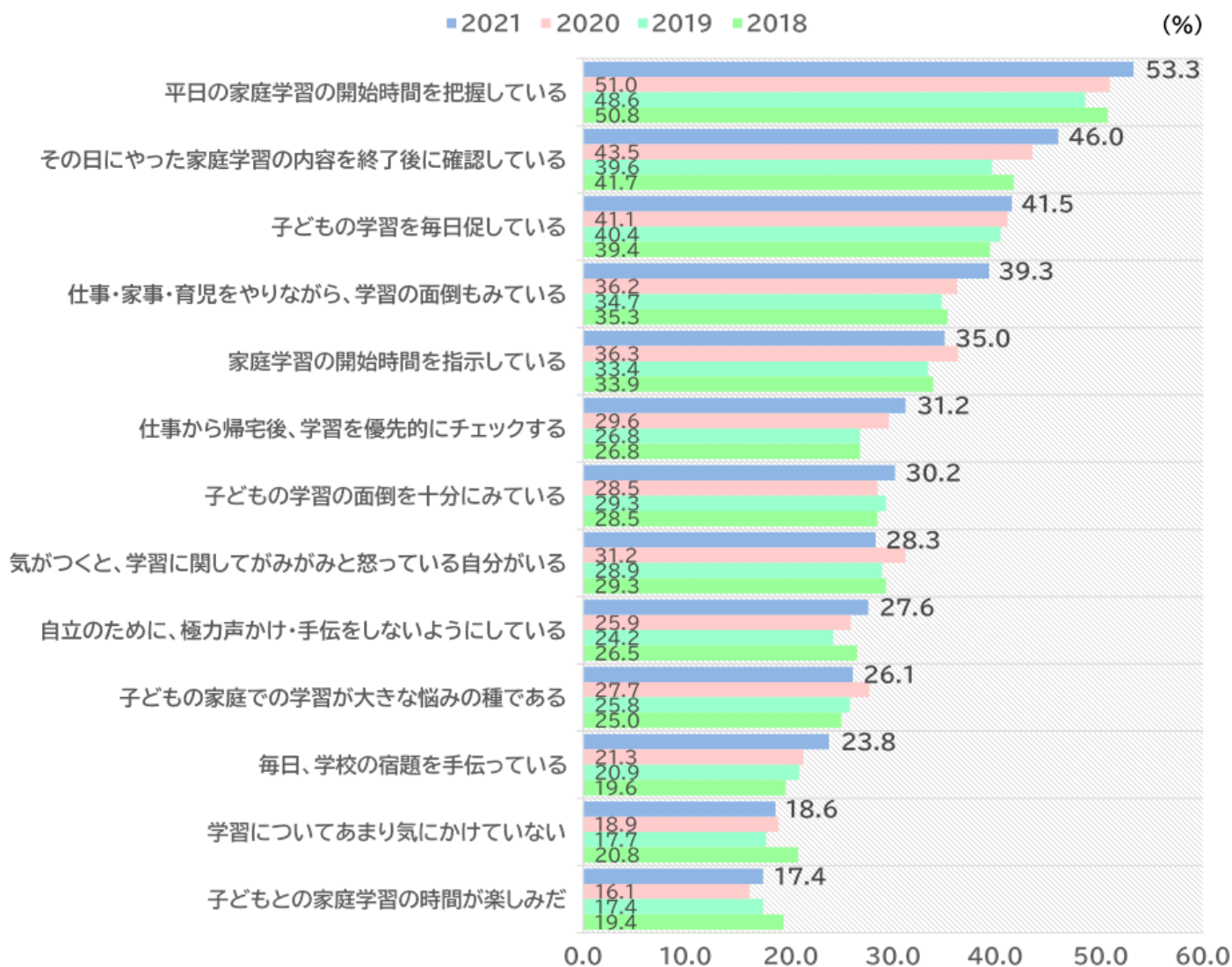
今回の調査でも、家庭内学習調査の変化のきっかけを聞きました。最も多かった回答は、「自力で課題を解けるようになったから」が26.9%、次に、「学校の成績(テストの結果など)がよくなったから」(19.7%)、「勉強の面白さを覚えたから」(15.7%)と続きます。



## ⑩ 保護者の家庭内学習関与が増えている傾向

今回の調査でも、保護者の家庭内学習関与の状況を聞きました。最も多かった回答は、「平日の家庭学習の開始時間を把握している」が53.3%、次が、「その日にやった家庭学習の内容を終了後に確認している」で46.0%でした。昨年の調査から、最も増えた回答が、「仕事・家事・育児をやりながら、学習の面倒もみている」で、昨年度の36.2%から今年度は39.3%となりました。

### 保護者の家庭内学習関与の状況



本内容は、弊社広報メディア『KUMON now!』にて3回にわたり連載します。

<https://www.kumon.ne.jp/kumonnow/topics/vol438/>

### 【リリース内容・取材に関するお問い合わせ先】

公文教育研究会 社長室 広報チーム

〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-18 京急第1ビル 12F

Email : [koho@kumon.co.jp](mailto:koho@kumon.co.jp)

TEL : 03-6836-0030

※過去のプレスリリースはこちらから

<https://www.kumon.ne.jp/press/>